



のなか ゆい
野中 優衣さん

プロフィール

大阪府池田市出身。宇都宮大学農学部農業環境工学科卒業。異業種が新たに農業分野へ参入していることに興味を持ち、電機メーカーに就職。農業をやりたいとの思いから昨年末に退職し、本年4月1日に地域おこし協力隊として白糠町に着任。趣味は旅行、アウトドア、カフェ巡り。



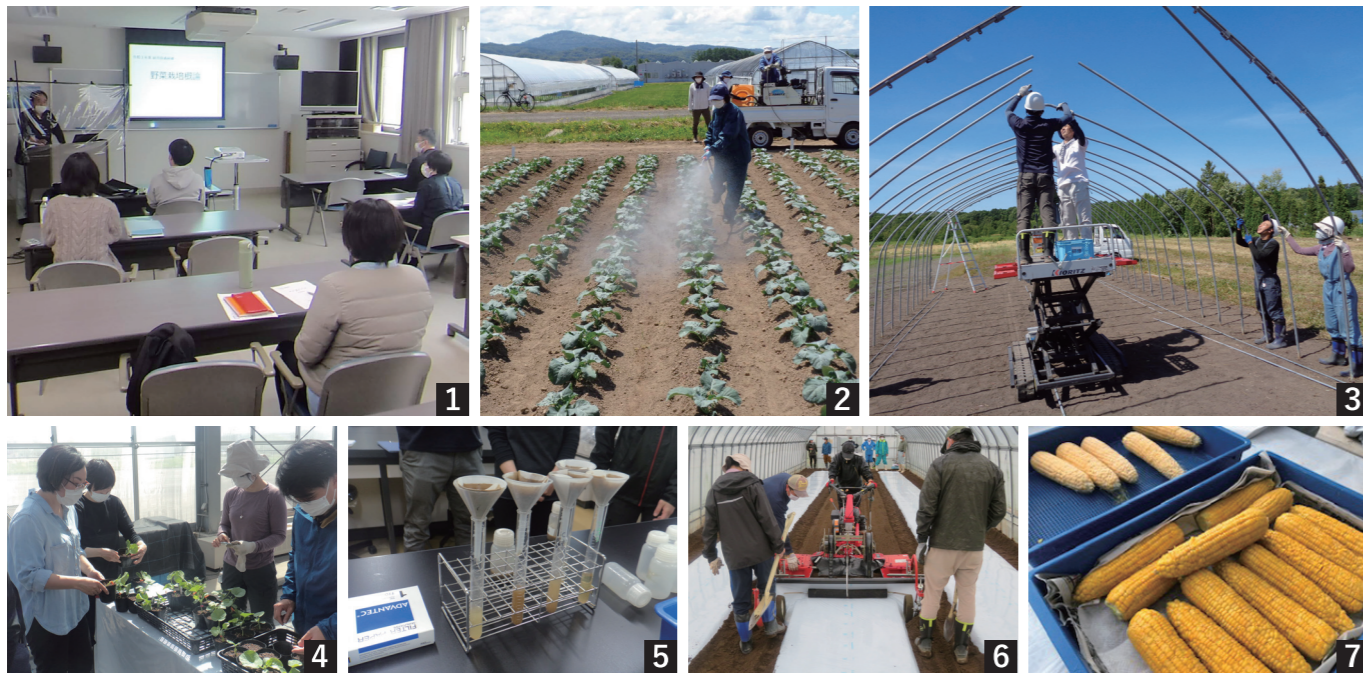
農業の基礎をしっかりと学ぶ —野中優衣—

私は、野菜の栽培技術を取得するため、滝川市にある「花・野菜技術センター」の総合技術研修（野菜コース）で学んでいます。ここでは私を含めて道内から集まった7人の研修生が、約15品目の研修用作物を栽培しています。

栽培技術のほかにもさまざまなことを学ぶことができます。たとえば、栽培中に発生する問題点（病害虫、生育不良、収穫物の品質など）や疑問点など、調べても分からないことは職員の方に相談し、その場で解決することができます。また、週1回行われているミーティングでは、普及指導員や他グループの研究職員の方とほ場を巡回し、作物の生育状況を各担当者が発表しています。そのときに、各作物の有識者からアドバイスや指導をいただけるので、栽培管理の改善につなげることができます。

現在は収穫ピーク時で、日々、収穫および収量・品質調査を行い、各作物の収量データを収集・分析しながら灌水・追肥・温度管理に試行錯誤しています。研修終了時には研修結果を発表する場があり、今後は収穫が終了した作物から順次、残渣処理や報告書の作成を行う予定です。

白糠町に戻ったときに、ここで得た知識を活用できるよう、しっかりと基礎を学んでいきたいと思います。



1 / 「花・野菜技術センター」では農業金融・土地制度の講義なども行っています。2 / ブロッコリーの防除をしているところです。3 / 研修では、栽培技術だけではなく、パイプハウスの組み立てや解体演習、農作業機械の操作なども行っています。4 / メロン苗を鉢上（植え替え）している様子です。5 / 土壌診断の様子です。土壌診断ではサンプルをろ過し、窒素量を計測します。作物の生育には窒素(N)、リン酸(P)、カリ(K)の三要素が不可欠です。6 / ダイコンほ場のマルチ張りです。マルチを使用し、地温を上げるようにしています。7 / スイートコーン食味調査。甘さや柔らかさなどを確認しています。

白糠町の 新規就農者等支援事業

農用地取得・賃貸借料助成事業

農地購入費用の1/2を上限150万円まで助成。賃貸借した場合は、賃貸借料の1/2を年間30万円を上限に最大で5年間助成します。

家賃助成事業

新規就農した日の翌月から、月々の家賃の1/2（上限2万円）以内の額を最大で5年間助成します。

新規就農希望者交通費助成事業

新規就農を希望する方が、視察や研修目的で来町した場合、道内の方は1万円、道外の方は2万円を上限に交通費を助成します。

白糠町新規就農者等支援事業に関する問い合わせは、役場経済課農政係 ☎ 2-2171（内線254・258）まで。

施設整備等助成事業

牛舎、育苗施設、施設野菜ハウスなど、農業用施設の建設・増改築費用、トラクターや耕運機など、農業用機械の購入費用、牛・馬など家畜を導入する費用に対して、実費負担額の1/2を上限500万円まで助成します。

新規就農者支援事業

新規就農者の経営安定を図るため、一人当たり100万円を最大で5年間支援します。※国の農業次世代人材投資事業（経営開始型）に町が上乗せで助成します。

農場実習生受入支援事業

就農体験を目的とした実習生を受け入れた認定農業者等に対し、一人当たり日額3千円、最大150日分まで支援します。

農業をやるなら、いま

トマトで日本のトップクラスとなる収穫量を誇り、栽培も軌道に乗ったので、やり切ったという気持ちがありました。いずれは独立して、自分の力で農業を一からやりたいという思いがずっとありましたので、いま農業をやらなければタイミングを逃すと思ったんです。それで昨年、農地を探し始めました。当初、白糠町でということとは全く考えていなかったのですが、8月に札幌市で開催された農業フェスタで、白糠町で農業従事者を募集しているということを知りました。他にもいくつかの候補地はあったのですが、白糠町にすぐ魅力を感じたんです。白糠町は新規就農者への手厚い支援がありましたし、温暖化により農業をやるにはちょうどいい気温だと思いました。さらには日射量もあります。農業をやるのには、とてもいい条件だと思いました。

ナガイモを白糠の特産品に

唯一不安があったら土壌です。農業をやるには土が大切なので

で、白糠の土がどういう状態なのかは、実際にやってみなければ何とも言えません。ですので、2年から3年かけて、この土壌ならばどのような野菜が育つのかを見極めたいと思っています。ナガイモはぜひやりたいですね。ナガイモを町の特産品にしたいです。ナガイモが軸になるのであれば、並行してハウス栽培などもやっていきたいです。ナガイモは5月下旬から植え付けて、11月くらいまで管理作業はありますが、比較的時間がありますので、その間に栽培経験のあるトマトの栽培、新しいところではアスパラに挑戦したいと思っています。アスパラは新規就農時に売りやすいという傾向があります。作った分だけ売れるんですよ。ただ、植えてから収穫までに3年くらいかかりますので、その間は無収入となるのが難点です。あとはカボチャ、ダイコンなどもやってみたいと思っています。農業やるなら白糠町はむしろいいと思います。上庶路は十勝なみに暑いですが、海もありますので、場所によっては気候にも違いがある、町の中でのいろんな物が作れると思うんですよ。